

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	矢鋪 渉 YASHIKI Wataru						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>① 卒業論文のテーマに沿って、文献調査、関連事項について研究発表を隔週でおこなう。</p> <p>② 前期は、個別指導をおこない、15週目に各自の研究テーマを紹介し、質疑応答をおこなう。</p> <p>③ 後期は、テーマに沿って個別指導をおこない、28週から30週にかけて論文要旨の発表をおこなう。</p>						
授業の到達目標	<p>① 民法を宅建士受験レベルで広く学ぶ。事例課題について広い視点から検討する手法を身につける。</p> <p>② 卒論のテーマに沿って、論文の構成、論点の検討、参考資料の読み込みができる。</p>						
授業計画・内容	1	図書館の活用方法、資料の見方、収集方法			16	各自のテーマに沿った個別指導	
	2	各自のテーマに沿った個別指導			17	各自のテーマに沿った個別指導	
	3	各自のテーマに沿った個別指導			18	各自のテーマに沿った個別指導	
	4	各自のテーマに沿った個別指導			19	各自のテーマに沿った個別指導	
	5	各自のテーマに沿った個別指導			20	各自のテーマに沿った個別指導	
	6	各自のテーマに沿った個別指導			21	各自のテーマに沿った個別指導	
	7	各自のテーマに沿った個別指導			22	各自のテーマに沿った個別指導	
	8	各自のテーマに沿った個別指導			23	各自のテーマに沿った個別指導	
	9	各自のテーマに沿った個別指導			24	各自のテーマに沿った個別指導	
	10	各自のテーマに沿った個別指導			25	各自のテーマに沿った個別指導	
	11	各自のテーマに沿った個別指導			26	各自のテーマに沿った個別指導	
	12	各自のテーマに沿った個別指導			27	各自のテーマに沿った個別指導	
	13	各自のテーマに沿った個別指導			28	卒論要旨発表 (全員)	
	14	研究テーマの経過報告 (全員)			29	卒論要旨発表 (全員)	
	15	研究テーマの経過報告 (全員)			30	卒論要旨発表 (全員)	
授業外学修 (事前学修)	① 論文のテーマ (興味があり、もっとよく知りたい事項、就職先で必要となる専門知識に関する事項など) を探求し、A4用紙1枚にまとめる (1時間)。						
授業外学修 (事後学修)	<p>① 配布資料を読み返すこと (1時間)</p> <p>② 報告者のA4報告の内容を復習する (1時間)</p> <p>③ 図書館で参考文献を読む (1時間)。</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	① 作成過程の取組み態度、作成論文等を総合的に判断する。				80%	①②	
② 論文の形式が整っている。				20%	①②		
成績評価基準	<p>秀： (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優： (評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良： (評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可： (評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可： (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	テーマに沿った文献を紹介する						
参考文献	テーマに沿った文献を紹介する						
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連文献のリストを作成し、読む習慣を身につけること。</li> <li>・ 研究テーマに関する進捗状況の発表できるように、論点を要約するよう心掛けること。</li> <li>・ メールで進捗状況について連絡を取るよう心掛けて下さい。</li> </ul>						